

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018 年 3 月 26 日作成

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 男性不妊症患者における精液中活性酸素（Reactive oxygen species: ROS）と精液中酸化還元電位（Oxidation-reduction potential: OPR）の関連についての検討 |
| 研究の対象 | 当センターを受診した男性患者のうち不妊症治療・不妊症スクリーニング目的に受診した患者 参加者本人が研究内容について十分な説明を受け、文書同意している方 精子凍結・治療に精液を使用する方（人工授精・体外受精・顕微受精など）は除きます。 |
| 研究目的 ・方法 | 精液内に生じる酸化ストレスを従来我々が行ってきた活性酸素測定、並びに新しく導入された酸化還元電位、両者を測定し、精子運動性や両測定値の関連などについて明らかにする。 主に以下の項目を調査する。 ・精液検査に使用した後の精液 500 μ L に 100mM のルミノールを添加しルミノメーターで化学発光値を測定 ・精液中酸化還元電位測定装置 MiOXs®へ精液 30 μ L を MiOXs®用チップに添加し酸化還元電位を測定 両者の値と精子運動パラメーター、並びに両者の相関を検証する。 |
| 研究期間 | 西暦 2018 年 5 月 28 日（承認日） ～ 西暦 2020 年 10 月 31 日 |
| 研究に用いる 試料・情報 の種類 | 精液検査に使用した後の破棄される精液、ならびに患者さんの臨床情報（年齢、喫煙の有無、BMI、男性不妊を有する疾患の有無など） |
| 本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。 | |
| 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター泌尿器科（研究責任者）湯村 寧 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-5656 | |